

## 知事によるトップセールス・県産農林水産物の産品紹介活動 柿「太秋<sup>たいしゅう</sup>」について

前回の温州みかん「肥のさきがけ<sup>ひ</sup>」に続き、今回は柿「太秋」を紹介します。

太秋は、本県が全国に先駆けて産地化に取りくんできた柿です。現在、栽培面積・生産量ともに国内トップを誇り、今や熊本を代表する果実となっています。

### 【知事による「太秋」のトップセールス】

○10月10日に開催された「くまもと未来会議」において、PRと試食品の提供を実施しました。

### 【PR活動】

○10月25、26日にイオンモール熊本クリアにて実施される「くだものふれあい広場」にて太秋を含む県産果実の試食・販売等が行われます  
(主催：熊本県果実生産出荷安定基金協会、熊本県果樹生産振興対策本部)。

### 【柿「太秋」とは】

○本県で平成17年産から本格出荷が始まった柿です。  
平成18年産の栽培面積は95 ha、生産量は193 t (熊本県調べ)で、全国1位となっています。

○平均果重が400 gにもなる大玉果実。糖度は平均16～18度で、サクサクとした食感が特徴。種が少なく食味も抜群なことから、贈答品としても人気があり、市場でも高く評価されています。



○玉が太る際に、条<sup>じょう</sup>紋といわれるリング状の模様が出ることがあります。

○今年産は9月27日から出荷が始まっており、地元市場を中心に、東京、大阪、名古屋方面で販売されます。出荷のピークは10月20日頃で、11月上旬まで続きます。

----- お問い合わせ先 -----

農林水産部

園芸生産・流通課 流通企画室

担当：八浪（内5403）

電話：096-333-2395